

給水スポットで SDGsのまちづくりを 広げよう!



《日時》
2021年
2月14日(日)
14:00~16:30

【開催形式】オンライン(ZOOMウェビナー)
【定員】100名 【参加費】無料



街中の水飲み場や給水機、マイボトルに無料で給水サービスを提供する店舗などの「給水スポット」を全国に広げる協働プラットフォーム「Refill Japan (リフィル・ジャパン)」。2019年5月にスタートし、全国各地の街に給水スポットが広がりつつあります。

このたび、全国で活動する地域団体が一同に会する第2回「リフィルサミット」の開催にあわせて、オンライン形式の公開セッションを開催いたします。

なぜ今、給水スポットなのか、「命の源」としての水を今一度見つめなおすとともに、すでに活動を始めている地域の様々なステークホルダーの立場から、SDGsの達成に貢献しうる給水スポットのまちづくりの意義を話し合います。ご自身の地域で「リフィル」の活動に参加したい方、始めてみたい方、ぜひこのセッションにご参加ください!

プログラム

- ◇**基調講演** 「命の水は街の基本インフラ~すべてのSDGs達成の鍵」
橋本 淳司 さん (水ジャーナリスト)
- ◇**基調報告** 「国内外に広がるリフィルムーブメントとRefill Japan」
瀬口 亮子 (水Do! ネットワーク事務局長)
- ◇**報告** 各地の活動紹介
10地域のリフィルパートナー団体
- ◇**ディスカッション** 「リフィルで街が変わる！」
北川 聡 さん (吉祥菓寮ブランドマネージャー)
木屋 範久 さん
(京都市環境政策局循環型社会推進部ごみ減量推進課課長補佐)
橋本 淳司 さん (水ジャーナリスト)
太田 航平さん (地域環境デザイン研究所 ecotone)
- ◇**ミニ・オリエンテーション** 「あなたの地域でも始めよう」
- ◇**宣言発表** 「Refillサミット2021 京都宣言」



参加申込

以下のフォームからお申込みください。
開催前日までに ZOOM 参加の URL を
メールでお知らせします。

◆申込締切：2月12日(金)

<https://bit.ly/3pt410n>



Refill Japan とは ...



Refill Japan (リフィル・ジャパン) は、日本全国で、水飲み場・給水機や水筒に無料で給水してくれる店舗等の「給水スポット」を広げることで、ペットボトルなどの使い捨て容器入り飲料の利用を減らし、環境負荷の低減と魅力的なまちづくりを推進する協働プラットフォームです(2019年5月設立、運営事務局：水Do! ネットワーク)。

Refill Japan の給水スポットは、「水道水であること」「誰もが無料で利用できること」を大原則としています。

2021年1月現在全国の10都府県で、「地域リフィル団体」が、給水インフラの確認、店舗等への無料給水協力の働きかけ、給水スポット登録、イベント等でのプロモーション、新規インフラ導入の働きかけ等の活動を展開しています。

詳細は、<https://www.refill-japan.org/>



登壇者プロフィール



橋本 淳司 (はしもと じゅんじ)

水ジャーナリスト、アクアスフィア・水教育研究所代表、武蔵野大学客員教授。水課題を抱える現場を調査し情報発信。国や自治体への水政策の提言、子どもや一般市民を対象とする講演活動を行う。Yahoo! ニュース 個人オナーサーアワード2019。近著『水がなくなる日』(産業編集センター)、『67億人の水』(日本経済新聞出版社)、『日本の地下水が危ない』(幻冬舎新書)。



瀬口 亮子 (せぐち りょうこ)

水Do! ネットワーク事務局長、NPO 法人環境市民理事・研究員、環境カウンセラー。主に廃棄物・3Rおよび気候変動・エネルギーの分野において、国内外の法制度や取り組み事例の調査研究、提言活動を行うとともに、環境のまちづくりに向けた市民・行政・事業者間の連携コーディネートを手がける。早稲田大学大学院法学研究科修了。著書『「脱使い捨て」でいこう! 世界で、日本で、始まっている社会のしくみづくり』(彩流社)。



太田 航平 (おた こうへい)

NPO法人地域環境デザイン研究所 ecotone 代表理事「環境×メディア×アート」をコンセプトに、持続可能な地域社会をデザインすることを目的として「NPO 地域環境デザイン研究所 ecotone」を設立、代表理事。主な活動のひとつとして展開する「リユース食器を活用した環境対策」は全国に広がり、「平成19年度容器包装3R推進環境大臣賞最優秀賞」を受賞。また、祇園祭、天神祭でもリユース食器を活用したごみゼロ大作戦を展開。